

第 4 回 札幌駅交流拠点再整備構想案策定委員会 議事要旨

日 時：平成 23 年 1 月 17 日（月）午前 10 時

場 所：S T V 北 2 条 ビル 6 階 会議室

議事要旨

委員長挨拶

札幌駅周辺に関しては、札幌市、北海道全体、あるいはもう少しグローバルに考えて大事な意味がある場所である。

現実には比較的短期に解決をしなければいけない課題もあり、不透明だが、中・長期的に札幌市として、あるいは北海道として旗幟鮮明に旗を示さなければいけない内容も含まれている。

そういう意味で、いわゆる総花的なビジョンではなくて、再整備を前提にしながら短期、中長期にわたっての戦略的な方向性を、可能性も含めながら議論してほしい。

～資料説明：前回委員会議事要旨について（資料 1）～

～資料説明：市民意見等調査結果のまとめ（資料 2）～

～資料説明：再整備構想案について（資料 3）～

【構想案の表現・内容について】

○コンセプト

- ・コンセプトの趣旨・中身について悪いとは思わないが、このキャッチコピーは、インパクトがちょっと足りない、ないしはミスリードなのではないかと思う。
- ・環境ステーションというネーミングに違和感がある。

○わかりづらい・記述不足

- ・見出しの階層が非常に深く、どの見出しと何が対応しているのかがわかりづらい。
- ・街区再整備の基本方針など、今までの議論やパブリックオピニオンがどこに反映されているのかがわかりづらい。
- ・交流拠点というわりには、交流をどう創造して、まちづくりに反映していくのかというところが見えにくい。
- ・駅交流拠点はどこのことなのか、周辺も含めて議論すべきなのか、もっと広域で議論をすべきなのかということが、短期、中期、長期と重なっていない。それで、どこのことを言っているのかがわかりにくく、具体的でなくなっている。

○札幌市の役割・位置づけ等

- ・今までの大きな流れの中で札幌市はどういう国際性を負ってきたか、地に足のついた国際性みたいな話をしっかり書き込む必要がある。
- ・新成長戦略に対し、どんなことを考えるのかが、愁眉の議論だろう。そこは意識しておく必要がある。
- ・広い意味での産業の質とか生活の質を推しはかり、提示しながらサービス論を議論していく必要があると思う。
- ・大通、創成、札幌駅前と交流拠点が三つあるときに、それぞれの役割を整理すべきではないかと思う。パブリックライフも、全体に関係する部分、それぞれ地区によってやっていく役割や特性があるのではないかと思う。

○表現・方向性

- ・短期の中に抽象的な文言が見られ、具体的なものとそうでないものが織り交ぜになっている。
- ・構想段階に、将来の夢を語らう場を作る、という表し方。受け身ではなくて能動的に自分たちからやっていくという仕組みを書く書き方。そのあたりの工夫がもう少し必要ではないか。整備論ではなくてサービス論、能動性。
- ・これを見た人が札幌市の財政も含めてバラ色の未来を考えてしまわないか。できるのであれば、そこが心配。逼迫する財政状況とか、減少する人口とか、ネガティブな情報を出すことも重要と思う。

○エリアマネジメント

- ・どこに行っても何に行けるという表示とプラス地図、この数が札幌は少なく、旅行者の人は迷うだろう。地下に潜るとどこに出るのかよくわからない。また観光客はどんなに寒くても外を歩きたいと思うので、マネジメント機能の中で雪かきのようなもの、歩道の空間をどういうふうに提供していくのかということは、考えられていくべきではないか。
- ・外国のエリアマネジメントでは、比較的小さな管理できるエリアを幾つも作っている。パブリックライフについては、札幌駅の交流拠点と大通の方は個別にやった方がいいと思う。

○今後の整理事項

- ・人の力を使ってどういうふうにビジョンを達成していくのか、という記述がない。
→ビジョンというのは、描くだけではなくて、それをマネジメントして実現していくというプロセスが必要で、それは当然加わっていくだろう。
- ・だれがその実現に係ってくるのかという話も、今後出てくると思うが、主体は誰なのかということがわからなくなってくる。そんなことも整理しなければいけない。

○エネルギー・環境

- ・既存のエネルギーセンターがあるので、熱ばかりではなくて電気と情報という形で統合されたものを使ってエネルギー拠点をより高度なものにしていくべきではないかと思う。
- ・例えば政策的な誘導の中で、スマートグリッドなんてものはだれがやるのかという議論もあり、きちんとした政策誘導と経済的なインセンティブも必要。地域や住民がどんなメリットを享受するのが、きちんと整理されていくべき。

○新幹線対応

- ・新幹線は中長期的な対応ということで、将来的な書き方で書いてあるが、一番大事なのは、これが来たときにどうするのだということであって、ここがベースになっているいろいろな乗り継ぎとか、外から来る来道者への対応というところに話が広がっていくのではないかと思う。